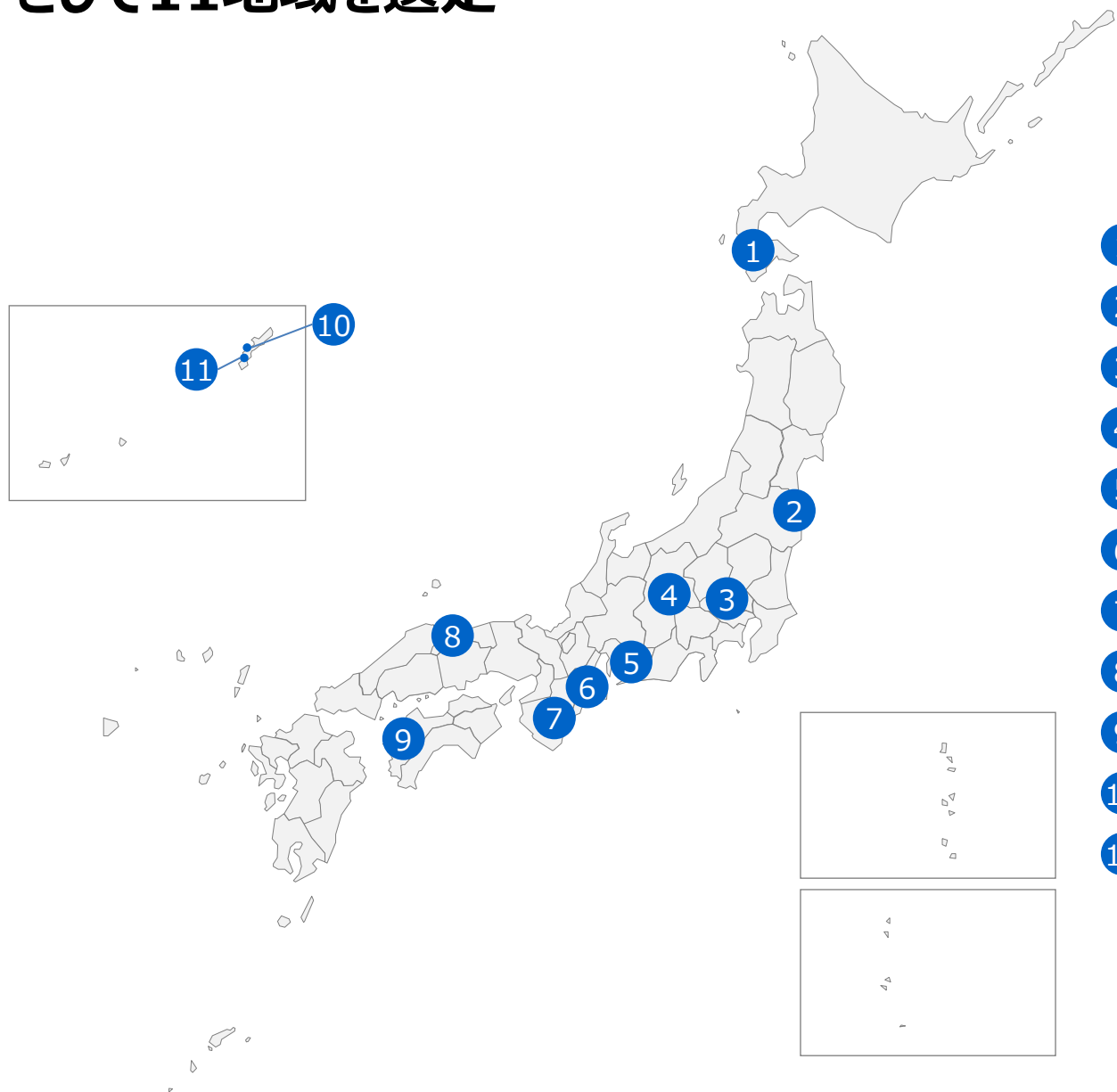


令和4年度スマートモビリティチャレンジの先進パイロット地域（経産省事業） として11地域を選定



1	北海道	北海道江差町
2	東北	福島県浪江町
3	関東	埼玉県入間市
4	関東	長野県塩尻市
5	中部	愛知県名古屋市
6	中部	三重県6町 (多気町/大台町/明和町/度会町/大紀町/紀北町)
7	近畿	奈良県川西町
8	中国	鳥取県米子市、大山町、伯耆町
9	四国	愛媛県伊予市
10	沖縄	沖縄県恩納村
11	沖縄	沖縄県北谷町

● 先進パイロット地域（経産省事業）

令和4年度 地域新MaaS創出推進事業について

- 令和4年度におけるMaaS実証では、地域の移動課題解決に向け、A～Eの5つの要素について過年度の課題や地域特性を踏まえ、さらなる高度化に取り組む。
- また、こうした取組を全国的な実装につなげるため、地域にとって理想的なモビリティサービス像や他地域の導入意欲を高めるサービス効果、先進技術の活用を含む地域交通の将来像検討を、地域と事務局で連携のうえ実施する。

MaaS実証に向けた5つの要素による取組事例

※（）内の自治体は、令和4年度の選定地域

A：他の移動との重ね掛けによる効率化

地域の交通リソースを連携・統合等により最適化

- 移動ニーズ分析による、個別に導入・運用されてきた各種交通の集約（浪江町）
- 都市部の交通空白エリアにおいて、複数の既存交通を活用したAIデマンド交通を提供（名古屋市）
- 乗合タクシーやパーソナルモビリティも活用した地域の高齢者向けモビリティの拡充（川西町）

B：モビリティでのサービス提供

サービスのモビリティ化により効率化を図る

- 自動運転車両内で生活に不可欠なサービスを複合的に提供（伊予市）

C：需要側の変容を促す仕掛け

需要に応じた行動変容を促し、地域経済を活性化

- 外出動機づけと移動サービスの組合せによる社会保障費削減等の効果を明示化（入間市）
- 広域での観光周遊促進を目的とした新たな観光モビリティを導入（米子市、大山町、伯耆町）
- Lv4自動運転の実装に向けた関係各所との体制構築や、公共交通の利用促進に向けた出発前段階での観光客への介入（北谷町）

D：異業種との連携による収益活用・付加価値創出

異業種との連携により、新しい複合サービスを提供

- 地域商業事業者も公共交通のコストを担う「収益循環モデル」を実証（江差町）
- マルチタスク車両で、医療をはじめ複数サービスを提供し、リソースを効率的に利用（三重県6町）
- 観光客向けモビリティと地域の高齢者向けモビリティを融合させた新たなサービスの提供（恩納村）

E：モビリティ関連データの取得、交通・都市政策との連携

モビリティ・異業種データを取得・可視化し、地域交通の効率化を実現

- 移動データを集約・可視化した結果を地域の交通計画改善に活用する方法の実証（塩尻市）

地域と連携した
事務局による分析

① 地域住民の高い受容性を維持する
理想的なモビリティサービス像の検討

② 他地域の導入意欲を高める
サービス効果の明確化

③ 先進技術・サービスの活用可能性を
含めた地域交通の将来像の検討

過年度までの取組と今年度の先進パイロット地域の取組

テーマ	過年度までの主な取組	今年度の取組
A 他の移動との 重ね掛けによる 効率化	- 自動運転車両と貨物輸送の掛け合せ - 自家用有償車両と郵便配送の掛け合せ - 貨物輸送車両と旅客運送の掛け合せ - 福祉車両と移動支援サービスの掛け合せ - 企業シャトルバスと旅客運送の掛け合せ	福島県浪江町：個別に導入・運用されてきた各種交通を、移動ニーズの詳細な可視化を踏まえ最適化する手法を検証 愛知県名古屋市：都市部の交通空白エリアにおける、複数の既存交通を活用したAIオンデマンド交通のニーズ・効果を検証 奈良県川西町：住民ニーズを踏まえ、乗合タクシーやパーソナルモビリティも含めた高齢者向けモビリティの最適な拡充手法を検証
B モビリティでの サービス提供	- 旅客車両での物品販売等による収益多角化 - 移動診療車を活用した広域医療サービスの提供	愛媛県伊予市：地域事業者と連携の上、自動運転車両内で生活に不可欠なサービスを複合的に提供し収益多角化を検証
C 需要側の変容を 促す仕掛け	- AIデマンド交通等におけるダイナミックプライシングの導入 - 地域に移動ニーズに応えるデマンド交通の乗継地点最適化 - 公共交通の利用促進に向けた既存交通間の接続強化	埼玉県入間市：外出動機づけと移動サービスの組合せを通じ、社会保障費削減等の効果を明示化することを目指す 鳥取県米子市、大山町、伯耆町：広域での周遊促進を目的とした新たな観光モビリティを導入し、ニーズ・採算性、観光客の行動変容を検証 沖縄県北谷町：Lv4自動運転の実装に向け、自治体や警察等の関係各所を含めた体制を構築。加えて、観光客の出発前段階での介入等に向けた体制拡充を図る
D 異業種との連携 による収益活用・ 付加価値創出	- 商業施設と連携したモビリティサービス提供 ➢ 商店サービスと交通周遊チケットを組合せた企画商品販売 ➢ 購買情報を活用した成功報酬型広告収入モデルの検証 - オフィス・研究機関と連携したモビリティサービス提供	北海道江差町：地域商業事業者も公共交通のコストを担う「収益循環モデル」の持続可能性を定量的に検証 三重県6町：マルチタスク車両で医療をはじめ複数サービスを提供し、リソース効率化による事業性向上効果を検証 沖縄県恩納村：観光客向けモビリティと地域の高齢者向けモビリティを融合させた新たなサービスのニーズや効果を検証
E モビリティ関連 データの取得、 交通・都市政策 との連携	- 交通データを用いた公共交通ネットワーク評価 - 走行データを活用した自家用有償ドライバーの質担保	長野県塩尻市：移動データを集約・可視化した結果を、地域の交通計画改善に活用する方法論の確立を目指す

テーマA：他の移動との重ね掛けによる効率化

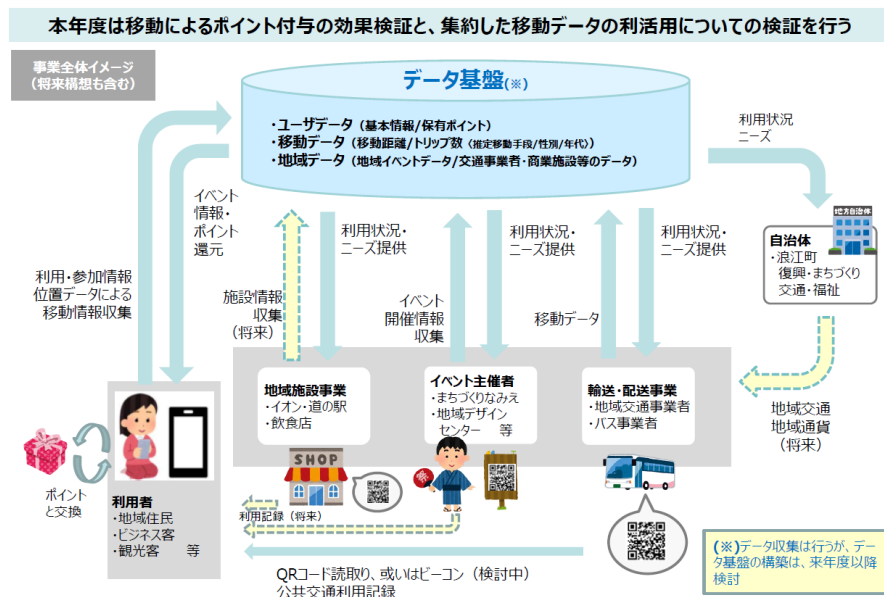
<福島県浪江町>

各種既存交通を移動ニーズの可視化により統合・再構築

実施主体：株式会社ゼンリン 等

震災復興のなかで個別に導入されてきた各種交通サービス（無償デマンドタクシー、民間路線バス等）について、各種データの取得・分析により地域の移動需要を可視化し、持続的運営が可能となるように地域交通網の再構築を図る。加えて、アプリ等を活用したポイント付与により、住民の移動需要や公共交通の利用状況の変容を検証する。

実証実験イメージ



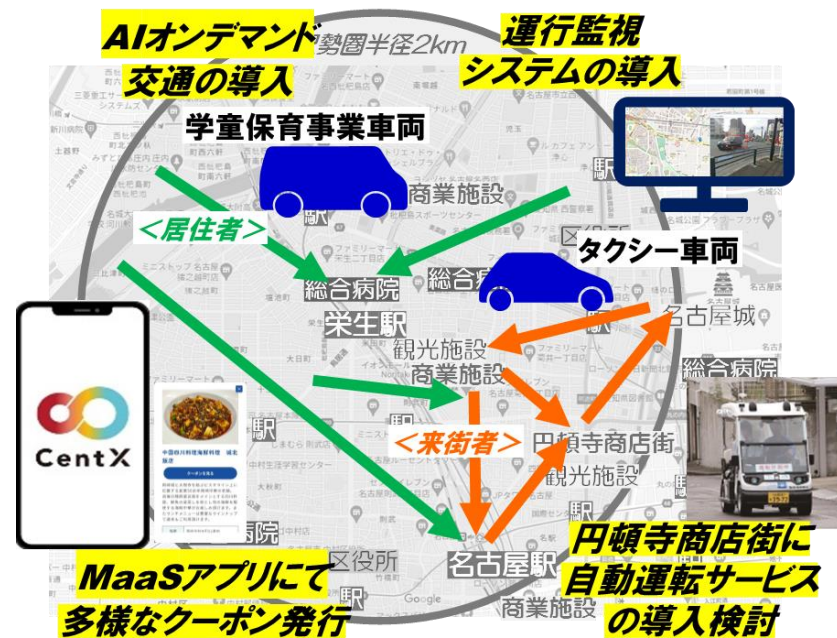
<愛知県名古屋市>

都市部の交通不便エリアにおける新たなモビリティサービスの導入

実施主体：名古屋鉄道株式会社 等

市内の交通不便エリア（名鉄栄生駅周辺）において、タクシー車両や学童保育事業車両等、複数の既存交通を活用したAIオンデマンド交通を導入し、居住者・来街者の利用ニーズや運行費用の効率化を検証する。加えて、既存MaaSアプリとAIオンデマンド交通の配車システムを連携させ、情報発信・クーポン発行等による地区内周遊促進効果を検証する。

実証実験イメージ



テーマA：他の移動との重ね掛けによる効率化

<奈良県川西町>

既存交通の再編と新たなモビリティによる域内外移動手段の拡充

実施主体：中央復建コンサルタンツ株式会社 等

現状、運行本数が限られ利用者も限定的であるコミュニティバスの再編を見据え、**包括的に町内外移動手段を拡充**するため、**パーソナルモビリティ（次世代型電動車いす）や予約型乗合タクシーを導入**する。そのうえで、**利用実態や利用者の意向等を分析し、事業性や継続運用に向けた施策を検討**する。

実証実験イメージ



テーマB：モビリティでのサービス提供

＜愛媛県伊予市＞

自動運転車両での複数サービス提供による収益・財源多角化検証

実施主体：BOLDLY株式会社 等

高齢化・人口減少が進む中山間地域において、地域事業者と連携し、医療サービス（健康相談等）や生活必需品の販売など、**生活に不可欠なサービスを複合的に自動運転車両内で提供**する。そのうえで、各種サービス提供による自動運転バスの**収益や財源の多角化の可能性を、利用者意向等から検証**する。

実証実験イメージ

「動く社交場」として賑わいを創出

貨客混載・車内販売で生活を支える



スマホ健康相談



スマートウォッチで
特定保健指導

外出勧奨



商品
積み込み



市内商店

注文

受取or購入



車内での交流を促進

テーマC：需要側の変容を促す仕掛け

<埼玉県入間市>

交通と福祉の連携による、社会保障費削減効果の可視化

実施主体：株式会社アイシン 等

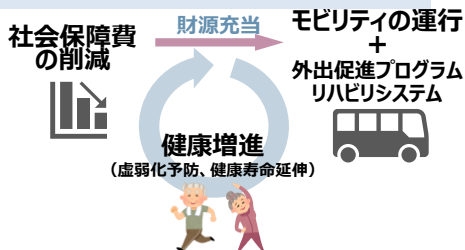
デマンド交通とリハビリプログラムを組合せ、**高齢者の外出促進・健康増進効果を定量的に検証**する。

その上で、**健康増進と社会保障費削減効果の関係を可視化**し、自治体と連携のうえ、**地域負担による持続的な運行スキームや社会実装に向けた体制の確立**を目指す。

実証実験イメージ



社会保障費削減分を充当するビジネスモデルイメージ※



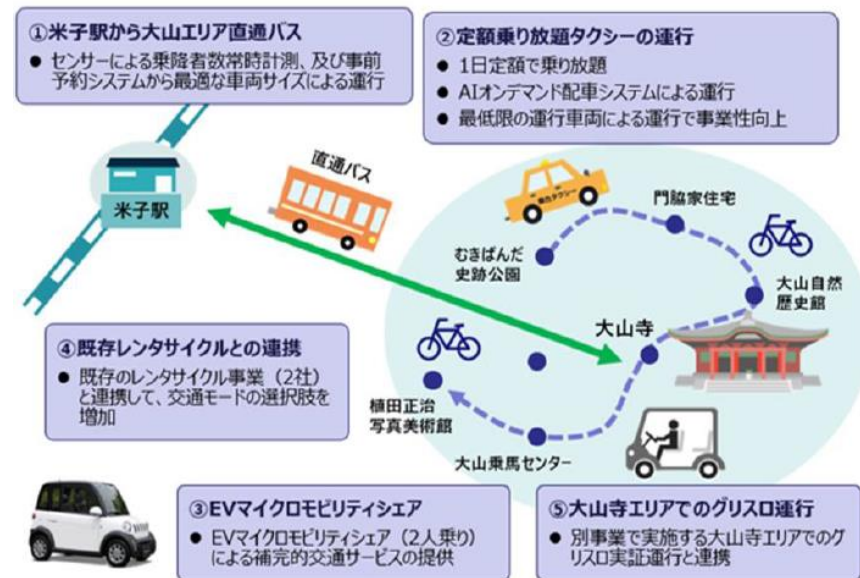
<鳥取県米子市、大山町、伯耆町>

広域周遊促進を目的とした新たな観光モビリティの導入

実施主体：株式会社バイタルリード 等

公共交通での周遊性が低い大山エリアの観光振興に向け、**米子駅直通のバスや、定額乗り放題タクシー、EVマイクロモビリティ等を導入し、利用者ニーズや採算性を検証**する。実証を通じ、**地域を跨いだ観光客の行動や満足度の変容を検証**する。

実証実験イメージ



実証実験期間中の利用者の確保に向け、JR西日本山陰営業部と連携し、京阪神方面等からの誘客を促進。「WESTER」との連携可能性も検討。

＜沖縄県北谷町＞

実施主体：ユーテック株式会社 等

また、観光客の公共交通利用をいっそう促進するため、航空事業者などと連携した出発前からの介入手法の検討や他レンタカー会社の巻き込みなど、体制の拡充を目指す。

- ・公道でのLv3自動走行カートのサービス実証を要請（RoAD to the L4プロジェクトでの実施を想定）
- ・Lv4車両の導入・サービス実証を見据え、ヤマハ発動機と提携してLv4車両の調達と準備を行う



テーマD：異業種との連携による収益活用・付加価値創出

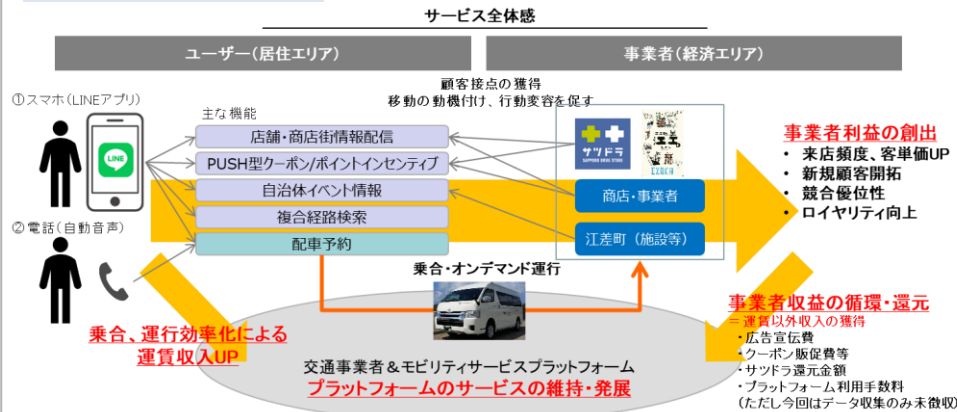
<北海道江差町>

商業事業者自らが地域交通運営に取組む「収益循環モデル」の構築

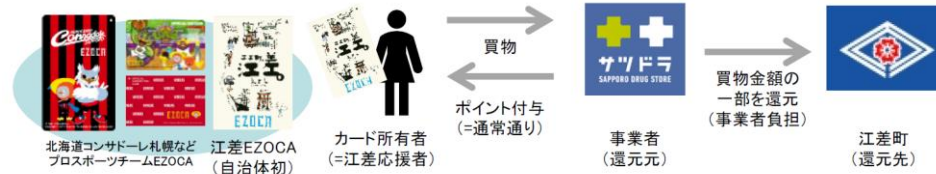
実施主体：サツドラホールディングス株式会社 等

域内共通ポイントカード「江差EZOCA」やアプリにより購買需要を喚起し、オンデマンドバスによる住民の移動を促進する。
運賃・事業者収入の増分を交通サービスの運営に充てる「収益循環モデル」の事業性検証を通して、同モデルの社会実装を目指す。

実証実験イメージ



※EZOCAを活用した還元モデルのイメージ



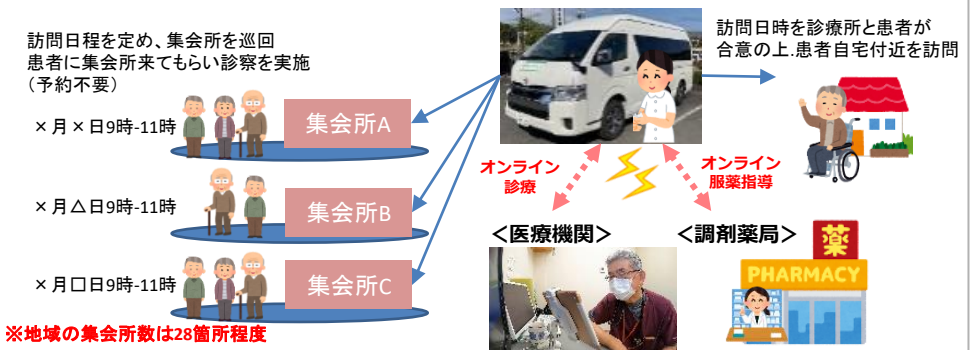
<三重県6町（多気町、大台町、明和町、度会町、大紀町、紀北町）>

医療MaaSにおける医療と交通間のコスト負担のあり方検証

実施主体：三重広域連携スーパーシティ推進協議会
 (代表企業：MRT株式会社)

マルチタスク車両を活用したオンライン診療サービスを実証する。
診療サービスは予約不要で複数人が同時に利用可能なサービスとする
ことで、リソースの効率的な利用を可能にする。
また、住民の移動手段としての車両運用、および申請登録・手続きなどの行政サービスの提供と組み合わせることで、医療・交通・行政等の各政策でどのようなコスト負担が可能かを明確化し、社会実装に向けた事業の実現性を向上させる。

実証実験イメージ



※マルチタスク車両の多目的利用イメージ



<沖縄県恩納村>

実施主体：株式会社OTSサービス経営研究所 等

個別に運行する観光客向けのホテル送迎バスと、地域の高齢者向けモビリティを統合した「地域巡回バス」を新設する。また、自治体やホテル事業者による費用負担のあり方を検討するため、アンケート等で取得・分析した利用者意向を基に、自治体やホテル事業者との協議を進める。

本事業の概要
(モバイルナビを活用した交通の利便性の向上)

ナビから直接乗車予約が可能

恩納村
穴場の観光体験
各リゾートホテル内レストランを満喫！

恩納村における観光客向けモビリティの確保
×
地域の高齢者向けモビリティの確保

※各ホテル～那覇空港間は
シャトルバス（沖縄エアポートシャトル）が運行

テーマE：モビリティ関連データの取得、交通・都市政策との連携

<長野県塩尻市>

移動データの分析を地域交通改善につなげる仕組みの検証

実施主体：一般財団法人塩尻市振興公社 等

地域振興バス・AIオンデマンドバス等の公共交通や自家用車による移動データを軸に各種データを取得し、MaaSダッシュボード上で分析する。加えて、自治体とも連携のうえ分析結果を最適化検討に活かし、地域公共交通の課題特定・改善施策立案につなげる。

実証実験イメージ

